— LS-8800 マニュアル 差分資料 —

今回のファームウェア(Ver2.20)より機能が追加されたため、LS-8800本体のLCD表示内容が変更されました。 この資料は、表示等の変更箇所とマニュアル(2版)の記載内容との違いについて記載しています。

対象マニュアル	2011年11月 2版				
LS-8800ファームウェア	Ver 2.20 (リビジョン番号: Firm 2999,FPGA 2716,I/O 2971,Bootloader 2998)				
明末以二	LS-8800 Configuration Tool (Ver.2.01)				
関連ワール	LS-8800 Realtime Monitor (Ver.1.03)				
	1. SDカードアクセス時間測定(Ver2.10で追加)				
	2. ファームウェア自動アップデート(Ver2.20で追加)				
*\ +~ +# 4F	3. ブートローダーアップデート(Ver2.20で追加)				
追加饿能	4. 測定中の設定変更(Ver2.20で追加)				
	5. 測定データ記録間隔設定(Ver2.11で追加)				
	6. ディスプレイ常時ON設定(Ver2.11で追加)				

ファームウェア Ver2.20について

Ver2.00以降、Ver2.20までのリリースにより、ユーザーインタフェースや機械的な特性に変更がございます。

この変更により、本体の操作画面やファームウェアのアップデート方法などが変わっておりますのでご注意ください。

新たに追加された機能では、コンフィグファイル(LS8800.CFG)に直接編集しないと利用できません。

記述が間違えている場合はご使用できませんのでご注意ください。

Ver.2.20のリリースに伴い、LS-8800 ConfigurationTool Ver2.01がリリースされました。このバージョンは、直接編集した設定をエラーとして扱わないように修正されています。

目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容 (太享 は変更後の箇所)
第1部 ^{はじめに・・・}	P2	1.2. 別売品について 表 1-2 LS-8800 の別売品	-	専用AC アダプター ⇒ PS800 専用AC アダプター(動作温度範囲 0~40℃)

目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容(太字 は変更後の箇所)
第1部 はじめに・・・	P2	1.2. 別売品について 表 1-2 LS-8800 の別売品	_	【項目追加】 AC アダプター PS802 専用AC アダプター(動作温度範囲 −20~50℃)

目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容 (太宇 は変更後の箇所)
第1部 はじめに・・・	P4	3.LS-8800 の特長 低消費電力	_	0.18 W 以下(24 時間平均) ⇒ 0.18 W (1週間平均)

目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容(<u>太宇</u> は変更後の箇所)
第1部 はじめに・・・	P10	6. メニューの基本的な使い方 図 1-6 メニューの階層構造 項目の追加	-	[Information]の项目 追加 Loader Update

Card	Cardボタンを押すと表示され	n3	Monitor	Monitorボタンを押す	と表示される	
Configurations	Configボタンを押すと表示。 Common	される	>	Channel Monitor Realtime Monitor		
→ [Measurement		Information	Infoボタンを押すと表	示される	
→ [Clock Calibration			Clock CAL. Log		
	Telemetry Unit			Event Log		
	Save			3D-POS. Result		
•[Load			Date and Time		
	Load Default			Almanac File		
				←	Loader Update	Information 記下に項目追加

図 1-6 メニューの階層構造

目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容(<u>太宇</u> は変更後の箇所)
第2部 測定する	P15	2. 装置を設定する 2.12.SDカードとSDカードリーダを用意する メモの記述追加	—	メモ:使用できないSDカード SDXCメモリカード、規格外のSDカード、上記の指定フォーマット以外でフォーマットされたものは使用で きません。ご利用に適したSDカードについては、弊社ホームページよりご確認びださい。 また、SDカードアクセス時間測定機能をご利用いただくことで、お手元のSDが測定に適しているか 客テストすることも可能です。

目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容 (<u>太宇</u> は変更後の箇所)
第2部 測定する	P19	2. 装置を設定する 2.2.1 設定前の準備 メモの記述変更	_	メモ:設定ファイルが入っているSDカードを使うとき [Measurement]のAuto Startを「ON」に設定した設定ファイルが入っている場合、電源を入れると自動的に 測定が開始され、ディスプレイに「Measurement」と表示されます。 <u>これ以降の記述を変更</u>

変更前 この場合は、測定を停止してから、Configurationsメニューで設定ファイルの設定値を変更します。

測定をしたままConfigurationsメニューで設定ファイルの設定値を変更することも可能です。設定を保存する際に 一旦測定が停止され、変更した設定で測定が再開されます。 変更後

目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容 (太宇 は変更後の箇所)
第2部 測定する	P49	4. 測定を開始する 4.5.4.Informationメニューでログなどを確認する 図2-51 Informationメニューの画面	_	[Infomation] の項目 追加 L <u>oader Update</u> プートローダーをアップデートする

Information >[Clock CAL. Log] >[Event Log] >[3D-POS. Result] Serial# = 0123 FirmWarms = LS-8800 FirmVersion = 0001 F/gaVersion = 0001 I/O Version = 0001 >[Data and Time] >[Almanac File] >[Loader Update K

- Loader Update ブートローダ-をアップデートする 追加

図 2-51 Informationメニューの画面(5~12行目の表示にはスクロールが必要)

目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容(太宇 は変更後の箇所)
第2部 測定する	P57	6. 測定データを回収する 6.1.測定を続けたままデータを回収する	_	[注意] 測定データ記録間隔を1~10分に指定した場合、Cardボタンを押してもカード交換画面にはなりませ ん。データを回収する為には測定を停止する必要があります。
目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容 (<u>太宇</u> は変更後の箇所)
第3部 仕様	P61	1. 機器の仕様 表 3-1 LS-8800 の仕様一覧	_	[消費電力] 0.18 W 以下(24 時間平均) 電源12V、入力ショート、コネクタ接続なし ⇒ <u>0.18 W (1週間平均) 電源12V、センサ入力ショート、1時間ファイル、時刻校正間隔1時間</u>

目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容(<u>太宇</u> は変更後の箇所)
第3部 仕様	P62	2. SDカードのフォルダ構成 2.1. SDカード内のファイルとフォルダ 図3-1 SDカードのフォルダ構成	_	フ <u>ァームウェアファイル0</u> プートローダーのファームウェアイメージファイル

図 3-1 SDカードのフォルダ構成



目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容(太主 は変更後の箇所)
		1540	А	新規追加
第4部 P78 1.6. 設定ファイルの直接編集 その他 P78 1.6. 設定ファイルの直接編集	1.6. 設定ファイルの直接編集の注意点	в	新規追加	
		衣4~1 直接殤未の注意点	С	新規追加

(A)

3

表 4-1 直接編集の注意点

設定キー	条件					
STATION_NAME	1~10文字で使用許可文字のみで記述					
	使用許可文字は、半角の英数字と!#\$%&()-`'@~[]_					
	例) STATION_NAME, DATA-1,					
TCAL_MIN_INTERVAL	小数点以下1位まで記述					
DOMER 1 SHUTDOWN NOT TACE	それぞれに記載可能な値は設定範囲内であること。					
POWERI_SHOIDOWN_VOLIAGE	TCAL_MIN_INTERVAL 設定範囲 (0.5 ~24.0 の 0.5 単 位)					
GPS_ALTITIUDE						
	例) POWER1_SHUTDOWN_VOLTAGE,06.0,					
	POWER1_SHUTDOWN_VOLTAGE 設定範囲 (6.0 ~ 15.7)					
	例) TCAL_MIN_INTERVAL,01.0,					
	GPS_ALTITIUDE 設定範囲 (-999.9 ~ 10000.0)					
	(例) GPS_ALTITUDE,000108.0,					
GPS_LATITIUDE GPS_LONGITUDE	対応を示す半角英字1 (文字) (緯度: JR, 6 種類: JR, M) の後に 間を空けてに買」の数字を記載、その後に『ドクト』を えれ、「分のの整数部」数字を記載、その後に『ドクト』を 入れ、「分のの数部」数字を記載、 それぞれに記載可能な値は設定範囲内であること。 GPS_LATTIDE 数注範囲 度 :0 ~ 90 分 (密数部):0 ~ 59 分 (小数部):0 ~ 59 分 (小数38):0 ~ 59 分 (小数部):0 ~ 50 (小3):0 ~ 50 (小3)					
TIME_ZONE_OFFSET	(例) GPS_LONGITUDE, E139 28.3881, 時と分が『:』で区切られていること					
	設定可能範囲であること					
	(符号を省略した場合はプラスとして処理される)					
	TIME_ZONE_OFFSET,+09:00,					
GPS_FORBIDDEN_SATELLITES	使用禁止衛星番号(1~32)が半角スペース区切りで記述さ					
	れていること					
	GPS_FORBIDDEN_SATELLITES,01 02 03 04 05 06 32,					
SDCARD_TEST	ONか OFF であること					
	SDCARD_TEST,ON, 装置を測定に使用する場合は値に OFF を記述するか、上記の					

DATA_REC_INTERVAL	1min~10min、または MAX であること	
	DATA_REC_INTERVAL,1min,	(B
	測定データ記録問題を設定しない場合は値に MAX を記述するか、上	
	記の1行を丸ごと削除する	
LCD_POWER_ON_TIME	FIX であること	
	LCD_POWER_ON_TIME,FIX,	(C)
	通常の省電力動作で使用する場合は上記の1行を丸ごと削除する	
その他の注意点	文字を入力する場合	
	本体 LCD 上で確認ができる設定項目の選択肢が記述されているこ	
	と。(半角英字の大文字または小文字どちらでも記述可能)	
	上記以外の項目で数字を入力する場合	
	本体 LCD 上で確認ができる設定可能範囲であること。設定値内であ	
	れば桁数は任意で記述することが可能。	
	1	

マ項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容 (太主 は変更後の箇所)
54部 の他	P79	1.FAQ 18 本製品のファームウェアバージョンアップについ	_	自動アップデートとブートローダアップデートの追加により全面的に修正
LS-8 Is880 この	8800のファ 00f3.datの4 うち、Is880 nware1 [1/	ームウェアは、Is8800f0.dat、Is8800f1.dat、Is8800f2.dat、 ファイルで構成されています。)f0.datはブートローダー、Is8800f1~f3.datはそれぞれ)1. [FPGA1のアップデートに必要です。		
ファ	ームウェア	アップデートの手順(自動)		
①lst ②電 ③本 ④デ	8800f1~f3 源を抜いた 体上部のE ィスプレイE	datの3ファイルをSDあるいはSDHCカードへコピーして 状態の本装置に、3ファイルの入ったカードを挿入して SCボタンを押しながら電源を入れて下さい。 I面上にLS-8800 Update Menuが表示されます。	下さい。 下さい。	
	LS-8800 U >[Auto Up >[Firmwa >[FPGA Up >[I/O Upd	odate Menu date] e Update] date] ate]		
	Loader:29	98 図 LS-8800 Updateメニュー		
(5) / [メモ	▲▼」ホタン :][Auto Upo 手順でアッ	で[Auto Update]の行[こカーソルを移動します。 ate]が表示されない場合は「ファームウェアアップデー プデートを実施してください。	▶の手順(手	=動)」の
⑥Er ⑦デ	nterボタン(イスプレイI	又は「▶」ボタン)を押します。 ∃面上にLoader Updateメニューが表示されます。		
[[Auto Upd	ate]		
	[Enter] = L	pdate ⊠ Auto Updateメニュー		
®Er	nterボタンを	押すとアップデートが開始されます。		
	Update is in progr	ej ess. 図 アップデート画面		
りて 9ア ファー 11st 21電 3本 4デ	ップデート: ップデート: ームウェア 8800f1~f3 源を抜いた 体上部のE ィスプレイ[Fの進歩は、デイスシレイト及のパーで確認ができます。 まで進まと処理中のファームウェアのアップデートの終 い終了すると自動的に再起動します。 アップデートの手順(手助) datの3ファイルをSDあるいはSDHCカードへコピーして 状態の本装置に、3ファイルの入ったカードを挿入して SCパキシを押しながら電源を入れて下とい。 可面上にLS-8800 Update Menuが表示されます。	。 冬了です。 下さい。 下さい。	
	LS-8800 U >[Auto Up >[Firmwar >[FPGA Up >[I/O Upd	odate Menu date) e Update] date] ate] 		
_ م]©	Loader:29	98 図 LS-8800 Updateメニュー で[Firmware Update]の行にカーソルを移動します。		
⑥Er ⑦デ	iterボタン(イスプレイ	又は「▶」ボタン)を押します。 回面上にアップデート確認画面が表示されます。		
	Present: Candidate	2853 22999 図 アップデート確認画面 adata		
 [אד	Present(」 現在のバージョン番号が表示されます。		
	Candidatel	はアッフテートするハージョン番号が入ります。		
®Er	nterボタンを [Firmware Update	押すとアップデートが開始されます。 Update]		
	is in progr	ess. 図 アップデート画面		
[メモ	:]アップデー バーが右站	トの進捗は、ディスプレイ下段のバーで確認ができます まで進むとアップデートの終了です。	t.	
⑨ア [メモ	ップデート; ESCボタン 「図 LS-88	が終了すると自動的に再起動します。 を押しながらアップデート終了を待つと、再起動後の画 30 Updateメニュー」の画面に戻ります。	面は	
1) () ()	の操作を上	記の[Firmware Update]の他に、[FPGA Update]、[I/O	Update]ŧ	
	実施して下	さい。		

4

③本	は上部のInfoポ	タンを押し、「	▲▼」ボタンで[Loader	Update]の行にカ	ーソルを	移動しる	ます。	
	I/O Version = 2 >[Data and Tim	971 ie]						
	>[Almanac File >[Loader Unda	tel	⊠ Information ⊀ -	1-				
	+ (zoude) opuu	<u></u>		-				
9 5 デ	イスプレイ画面」	LICLoader Up	pdateメニューが表示さ	れます。				
[[Loader Update	:]						
	Candidate:2998	3						
	[Enter] = Updat	e	🛛 Loader Update;	*=				
[メモ	E]Presentは現在 Candidateはアッ	のバージョン パデートする	番号が表示されます。 バージョン番号が入り	ます。				
6Er	nterボタンを押す	- とアップデー	トが開始されます。					
[[Loader Update	1						
	Update is in progress.		図マップギート両の	5				
 [] T	ೆತ್ಲೇವೆ ಎಂ			もおがたますす				
()-t	バーが右端まで	進むとアップ	デートの終了です。	生認かでさます。				
7 7	゚ップデー トが終 ^っ	了すると自動的	的に再起動します。					
目	ページ		変更/追加箇所		番号			
	-				-	新規追	<u>ho</u>	
S	SDカードが測定	に適している	かテストする					
SDナ	コードアクセス時	間測定機能を	使って、お手元のSDた	ードが測定に適し	ている	かを		
テス	トする事が出来	ます。						
[メモ]SDカードアクセ	ス時間測定に	は容量の大きなカードに	まど時間がかかり	ます。			
	32Gの容重の場	合、テスト終	「まで50~500時間程」	度かかります。				
<u></u>	ティ	トを実施する	5					
07	オーマット済みて	*データが入っ	っていない状能のSDカー	―ドを用音 ます.				
Uフ ②以	オーマット済みて し下の1行だけを	データが入っ 記述したLS88	っていない状態のSDカ・ 800.CFGファイルを用意	ードを用意します。 します。				
①フ②以[注意	オーマット済みて し下の1行だけを SDCARD_TEST 意]	『データが入っ 記述したLS88 ON,	っていない状態のSDカ 800.CFGファイルを用意	ードを用意します。 します。				
Uフ ②以 [注意 SDカ この	オーマット済みて し下の1行だけを SDCARD_TEST 意] コードアクセス時 機能はLS88000	『データが入っ 記述したLS88 ON, 間測定はLS-4 ンFGファイルを	っていない状態のSDか 300.CFGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集	ードを用意します。 します。 olでは編集出来ま することでのみ、	をせん。	⊧ক্ৰ.		
 ① ② ② ② ② ② ② ○ ○	オーマット済みで しての1行だけを SDCARD_TEST 意] コードアクセス時 機能はLS8800.0 意] ニードマクセス時	ミデータが入っ 記述したLS88 ON, 間測定はLS→ DFGファイルを 問測字機能を	っていない状態のSDカ 300.CFGファイルを用意 8800 Configuration To モディタ等で直接編集	ードを用意します。 します。 olでは編集出来ま することでのみ、	で せん。 使用可能	をです。		
 ① ② ② ② ② ③ ③ 第 1 1	オーマット済みで しての1行だけを SDCARD_TEST 記 コードアクセス時 機能はLS8800.0 記 コードアクセス時 き を行う場合は、5	ビデータが入っ 記述したLS88 .ON, 間測定はLS こFGファイルを 間測定機能を SDCARD_TES	っていない状態のSDか 300.CFGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 行効にした場合、通常 ST.ON,の記述を行ごと皆	ードを用意します。 します。 のでは編集出来ま することでのみ、 の測定は出来ま 削除して下さい。	₹せん。 使用可 せん。	をです。		
 ① ② ② ② ② ③ ③ ③ ③ ③ ○ ○	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 意 コードアクセス時 機能はLS8800.0 意 コードアクセス時 き を行う場合は、 Dカード上にLS8	データが入っ 記述したLS88 ON, 間測定はLS→ JFGファイルを 間測定機能を SDCARD_TES 300.CFGファイ	っていない状態のSDか 300.CFGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 ST_ON,の記述を行こと (ルをコピーします。	ードを用意します。 します。 のでは編集出来ま することでのみ、 の測定は出来ま 判除して下さい。	きせん。 使用可能 せん。	をです。		
 ① ② 注 SDの 意力の 意力定 3 ④ ⑤ ③ ④ ⑤ ⑤ (1) (2) (2)<	オーマット済みで し下の1行だけを SDCARD_TEST 意) ドアクセス時 機能はLS8800.0 意) ドアクセス時 (意) ドアクセス時 で行う場合は、: のカード上にLS8 認源を抜いた状態のSDカ-	 データが入っ 記述したLS86 ,ON, 間測定はLS 2FGファイルを 間測定機能を 3D0.CFGファイ 300.CFGファイ -ドアクセス時 	なしない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To 注ディタ等で直接編集 オ効にした場合、通常 ST_ONの記述を行ごと I (ルをコピーします。 SDカードを挿入して電 間測定面面が表示さ	ードを用意します。 します。 olでは編集出来ま することでのみ、 での測定は出来ま 削除して下さい。 ご源を入れて下さい れます。	ミせん。 使用可能 せん。 ヽ。	とです 。		
 ② 注SDの えたの えたの えたの えたの えたの えたの えたの えたの えたの えた	オーマット済みて、 に下の1行だけを SDCARD_TEST 意] ラードアクセス時 機能はLS8800.0 意] ラードアクセス時 で行う場合は、: Dカード上にLS8 「源を抜いた状態 しないた状態のSDカ- 2012/06/07 00	 データが入っ 記述したLS86 ON, 間測定はLS ンFGファイルを 間測定機能を SDCARD_TES 300.CFGファイ の本装置に、 -ドアクセス時 100:00 	ていない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 済効にした場合、通常 TONの記述を行ごと パルをコピーします。 SDカードを挿入して電 間測定画面が表示さ:	ートを用意します。 します。 っけでは編集出来ま することでのみ、 、の測定は出来ま 別除して下さい。 い源を入れて下さい れます。	きせん。 使用可能 せん。 ヽ。	をです。		
 ① ② ② ② ② ③ ③ SI 電 (1) (2) (2)	オーマット済みて に下の1行だけを SDCARD_TEST ⑤] つードアクセス時 機能はLS8800.0 ⑤] ロードアクセス時 そ行う場合は、: 5行う場合は、: 0Dカード上にLS8 源を抜いた状態 のSDカー 2012/06/07 02 SDTest Stop MediaCAP	 データが入っ データが入っ 記述したLS88 ON、 罰測定はLS プテイノレを 聞測定機能を SDCARD_TES 300.CFGファイ マの本装置に、 -ドアクセス時 1:00:00 <l< td=""><td> なていない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 有効にした場合、通常 すびのにの記述を行ごとけ パレをコピーします。 SDカードと補入して電 間別定画面が表示さ </td><td>ートを用意します。 っしては編集出来ま することでのみ、 の測定は出来ま 判除して下さい。 こ源を入れて下さし れます。</td><td>ミせん。 使用可≇ せん。 ヽ。</td><td>皆です。</td><td></td><td></td></l<>	 なていない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 有効にした場合、通常 すびのにの記述を行ごとけ パレをコピーします。 SDカードと補入して電 間別定画面が表示さ 	ートを用意します。 っしては編集出来ま することでのみ、 の測定は出来ま 判除して下さい。 こ源を入れて下さし れます。	ミせん。 使用可≇ せん。 ヽ。	皆です。		
 ① ② ② ② ③ ③ ⑤ ⑦ ⑨ ⑦ ⑨ ∅ ∅	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 意] ードアクセス時 機能はLS8800.0 意] ードアクセス時 さそ行う場合は、: Dカード上にLS8 加大地状態のSDケー 2012/06/07 0 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F	データが入っ 記述したLS88 ,ON, 間測定はLS-I 2FGファイルを 間測定機能を 300.CFGファイ にの本装置に、 -ドアクセス時 ?:00:00 32k/30G W2 low	っていない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 すびのにの記述を行ごと パルをコピーします。 SDケード結構入して電 問測定画面が表示さ 図 SDカードアクセス時	ートを用意します。 っ」では編集出来ま することでのみ、 の測定は出来ま 別除して下さい。 認定を入れて下さし 加ます。 間測定画面(停止	ません。 使用可能 せん。 い。 : : : 状態)	をです。		
 ① 注 SL の 意力定 ③ ④ ⑤ ⑥ St 	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 意] ードアクセス時 機能はLS8800.0 第 シードアクセス時 を行う場合は、: Dカード上にLS8 ロカード上にLS8 ロカード上にLS8 な状態のSDカ- 2012/06/07 0 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F tart/Stopボタン	デーーダバス- 記述したLS88 (ON, 間測定はLS にGファイルを 500.CFGファイルを 500.CFGファイルを 500.CFGファイルを 500.CFGファイルを 500.00 	Ctいない状態のSDか 300.OFGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 すたのの記述を行ごとけ (ルをコビーします。 SDカードボクトセス時 ・を開始します。)	ートを用意します。 いては編集出来ま することでのみ、 の測定は出来ま 削除して下さい。 ご源を入れて下さし れます。 間測定画面(停止	∈せん。 使用可f せん。 、 、 、 、 、 、	皆です。		
 ① 注 SD (注 SD (汇 SD (润 SD (汇 SD (汇 SD (润 SD (汇 SD (润 SD (汇 SD (润 SD (汇 SD (润 SD (µ))))))))))))))))))))))))))))))))))))	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 意) ードアクセス時 機能はLS8800.0 第) シードアクセス時 で行う場合は、: Dカード上にLS8 加大能のSDカー 2012/06/07 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F tart/Stopボタン 2012/06/07 00	データが入っ 記述したLS88 (ON, 間測定はLS-1 CFGファイルを 間測定機能を BDCARD_TES BDCARD_TES BOO.CFGファイ (の本装置に、 H-アクセスA 230/30G W2 low 生押すとテスト h01:00	 マレない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 オ効にした場合、通常 ボCONの記述を行ごより (ルをコピーします。 SDカードボクセス時 マる SDカードアクセス時 を開始します。 	ートを用意します。 いでは編集出来ま することでのみ、 の測定は出来ま 判除して下さい。 ご源を入れて下さい れます。	ミせん。 使用可f せん。 ヽ。 :状態)	をです。		
 ① 注 SD の 意力定 ③ ④ ⑤ ⑥ St 	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 意) ードアクセス時 機能はLS8800.0 第 レデフクセス時 で行う場合は、: Dカード上にLS8 ロナドアのとて、 Dカード上にLS8 レ状態のSDカー 2012/06/07 0! SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F tart/Stopボタン: 2012/06/07 0! SDTest Run f MediaCAP.	データが入っ 記述したLS88 (ON, 間測定はLS CFGファイルを 間測定機能を BDCARD_TES 300.CFGファイ 300.CFGファイルを 100.000- 	 なしない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 オ(のにした場合、通常 オ(のに)の記述を行ごより (ルをコビーします。 SDカードボクセス時 ・を開始します。 	ートを用意します。 します。 いでは編集出来ま することでのみ、 の測定は出来ま 判除して下さい。 ご源を入れて下さい れます。 間測定画面(停止	ません。 使用可f せん。 ヽ。 ま状態)	とです 。		
 ① 注 SD 二 注 SD 測 ③ ④ ⑤ ⑥ St 	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 意) ードアクセス時 健都能はLS8800.0 意) ロードフクセス時 まぞ行う場合は、: Dカード上にLS8 ゆせ款のSDカー 2012/06/07 0! SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V P tart/Stopボタン・ 2012/06/07 0! SDTest Run ff U2012/06/07 0! SDTest Run ff MediaCAP. PW1 7.0V P	データが入っ 記述したLS88 (ON, 間測定はLS CFGファイルを 間測定機能を BDCARD_TES 300.CFGファイ 300.CFGファイルを 100.00- 	 マレない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 オスロレた場合、通常 パの、の記述を行ごより (ルをコビーします。 SDカードボククセス時 ・を開始します。 図 SDカードアクセス時 図 SDカードアクセス時 	ートを用意します。 」のでは編集出来ま、 のでは編集に来ま、 の別定は出来ま、 の別定は出来ま、 「間別定画面(停山) 「間別定画面(動件)	t 使 用 可 f 世 ん 。 、 、 、 、 、 、	ট ের ়		
 ① 注けたの注め方定 ③ 注意 ③ 注意 ③ 注意 ③ 正 ③ 正 ④ こ ⑤ St ⑦ St 	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 意) ードアクセス時 健能はLS8800.0 意) コードフクセス時 まを行う場合は、: Dカード上にLS8 のたがた状態のSDカー 2012/06/07 02 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F tart/Stopボタン: 2012/06/07 02 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Coll2/06/07 02 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Coll2/06/07 02 SDTest Run F MediaCAP. PW1 7.0V F DDカードの容量-	データが入っ 記述したLS88 (ON, 間測定はLS-1 CFGファイルを 間測定機能を 5DCARD,TES 300.CFGファイル 300.CFGファイルを 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFGファイ 300.CFG 30	 マレない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 オ効にした場合、通常 ボTONの記述を行ごとり (ルをコピーします。 SDカードアクセス時 ・を開始します。 図 SDカードアクセス時 ・テータを書き込むと、う 	- トを用意します。 ○ します。 ○ けることでのみ、 の 測定は出来ま の 測定は出来ます。 ○ 調測定画面(停止) ■ 測定画面(動作 - ストは自動停止)	に使せ、。 状 状 こくしん 可能 しん 可能 しん ういん しん ういん しん	をです。		
 ①② 注SD:cの 注方定 ③④ ⑤ ⑤ ⑤ St ⑦ St ⑦ St 	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 意) ードアクセス時 健能はLS8800.0 意) コードフクセス時 また行う場合は、: Dカード上にLS8 のたがた状態のSDカー 2012/06/07 02 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F tart/Stopボタン: 2012/06/07 02 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Coll2/06/07 02 SDTest Run F MediaCAP. PW1 7.0V F Coll2/06/07 02 SDTest Run F MediaCAP. PW1 7.0V F DDカードの容量- 2012/06/10 02	データが入っ 記述したLS88 (ON, 間測定はLS-1 CFGファイルを 間測定機能を 5DCARD,TES 300.CFGファイルを 100.000- 	っていない状態のSDか 300.OFGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 がTONの記述を行ごと! (ルをコビーします。 SDカードボタクセス時 時間測定画面が表示さ 図 SDカードアクセス時 -データを書き込むと、う	- トを用意します。 します。 olでは編集出来す。 の別定は出来す。 「御測定画面(停止) 「開測定画面(動件) - ストは自動停止)	に使 せん。 、 、 状態) ます。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	をです。		
 ①② 注気たの類ナ定 ③④ ⑤ ③ ⑤ ⑤ ⑤ St ⑦ SL 	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST ジードアクセス時 第 ジードアクセス時 ぎ ご行う場合は、: Dカード上にLS8 の Dカード上にLS8 レ状態のSDカー 2012/06/07 02 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F tart/Stopボタン: 2012/06/07 02 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 02 SDTest Stop Dカードの容量- 2012/06/10 02 SDTest Stop	データが入った。 データが入った。 記述したLS88 (の)、 間測定はLS にGファイルを 間測定機能を 500CRGファイルを 100の本装置に、- ドアクセス明 200:00- 	 マロンロい状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 ざて、ONの記述を行ごとば (ルをコピーします。 SDカードアクセス時 間別定画面が表示さ: 図 SDカードアクセス時 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	→を用意します。 →を用意します。 olでは編集出来す。 olでは編集でのみ、 の測定は出来す。 (間測定画面(停止) 間測定画面(等止) (間測定画面(等止) (情測) (情測)	させました いった おうしょう はっしょう はっしょう はいしょう はいしょう はいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	きです。		
 ①20 注むたの見た定 ③350 電停 ⑤50 (0.5 km) ③50 (0.5 km) ④50 (0.5	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 意) ードアクセス時, 様能はLS8800.0 意) コードフクセス時, 地状態のSDカード上にLS8 レ大状態のSDカード上にLS8 レ大状態のSDカービルで加入 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F 2012/06/07 02 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 02 SDTest Stop Dカードの容量- 2012/06/10 02 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 02 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F	データが入っ 記述したLS88 (ON) 間測定はLS CFGファイルを 間測定機能を BDCARD,TES 300.CFGファイルを 間測定機能を BDCARD,TES 300.CFGファイルを のの本装置に、- ドアクセス明 200:00 	 なしない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 ボT.ON,の記述を行ごとは (ルをコピーします。 SDカードアクセス時 第開始します。 図 SDカードアクセス時 ・データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 	-トを用意します。 いては編集出来す。 いでは編集でのみ、 の測定は出来す。 「間測定画面(停止) 「間測定画面(停止) 「間測定画面(停止)	さ使せん。すべい 状ません。可	きです。		
 ①② 注SDの意気力定 SIT 電停 SIT 電 SIT 電	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST シードアクセス時 機能はLS88001, シー デフクセス時 きを行う場合は、: Dカード上にLS8 源を抜いた状態のSDカ- とな行う場合は、: SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F 2012/06/07 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F 2012/06/07 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F ESDカードアクセ	データが入った。 データが入った。 記述したLS88 (ON、 間測定はLS-1 SFGファイルを 間測定機能を SDCARD,TES 300.CFGファイルを 間測定機能を SDCARD,TES 300.CFGファイルを 100.000- ジクセス時 200.000- 22K/30G W2 low 200.000- 52K/30G W2 low 30G/30G W2 low 30G/30G W2 low -	 なしない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 (ルをコピーします。 SDカードローはます。 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 	- トを用意します。 - トを用意します。 ofでは編集出来す。 の別定は出来す。 の別定は出来す。 いれます。 - 「間別定画面(等止) - 「「」」の一、「」」の一、「」」の一、「」 - 「」」の一、「」」の一、「」 - 「」」の一、「」」の一、「」 - 「」」の一、「」」の一、「」 - 「」」の一、「」 - 「」」の一、「」」の一、「」 - 「」」の一、「」」の一、「」 - 「」」の一、「」」の一、「」 - 「」」の一、「」」の一、「」」の一、「」 - 「」」の一、「」」の一、「」」の一、「」 - 「」」の一、「」」の一、「」」の一、「」」の一、「」 - 「」」の一、「」の一、「	(使用し、 状 状 に 状 に 状 に い い い い い い い い い い い い い	とです。		
 ①② 注封たの注むた案 ③④⑤ ⑥St ⑦St 【メモ 	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 第 Dードアクセス時 機能はLS8800.0 第 DカードレにLS8 読を抜いた状態のSDか- 2012/06/07 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F 2012/06/07 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F 2012/06/07 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F PW1 7.0V F SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F SDTest Stop	データが入っ 記述したLS88 (ON) 間測定はLS CFGファイルを 間測定機能を SDCARD_TES SDCARD SDCARD_TES SDCARD SD	 なしない状態のSDM 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 iT.OLた場合、通常 iT.ONの記述を行します。 SDカードアクセス時 マグリカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 	- トを用意します。 - 小を用意します。 ofでは編集出来す。 の測定は出来す。 の測定は出来す。 ごびは出来す。 ごびないで下さい。 ごびないでです。 ごびないでです。 ごびないでです。 ごびないでです。 ごびないでです。 こののののののののののでは、 一を見ていた。 このののののののののののののののののののののののののののののののののののの	type せん。 type せん。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	とです。 こいます	. o	
 ①② 注SDこの見た定 ③④⑤ ⑤ St ⑦ St ②② St 	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 意) ードアクセス時, 様徴能はLS8800.0 意) シードアクセス時, 地状態のSDカード上にLS8 かした状態のSDカード 2012/06/07 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Call2/06/07 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Call2/06/07 00 SDTest Stop Dカードの容量- 2012/06/10 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Call2/06/10 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F SDDD-F SDDDD-F SDDD-F SDDD-F SDDD-F SDDD-F SDDDD-F SDDDD-F SDDDD-F SDDDDD-F SDDDDDDDDDD-F SDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD	データが入った。 データが入った。 記述したLS88 (0)N、 間測定はLS-1 になった。 第回アイルを 部のこFGファイルを 部のこFGファイルを 部のこFGファイルを 部のこFGファイルを 部のこFGファイルを 部のこFGファイルを 部のこFGファイルを 部のこFGファイルを 部のこFGファイルを 第回アストレート アクセス明 たいこので、 本までダミー 、 たいこので、 本までダミー 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	マレない状態のSDか 300.OFGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常 げ、ON、の記述を行いたです。 SDカードアクセス時 間別定画面が表示さ 図 SDカードアクセス時 ・データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 ・データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 ・データを書き込むと、う 個 SDカードアクセス時	- トを用意します。 - トを用意します。 olでは編集でのみ、 の) することを確認 の) 別定は出来す。 の) 別定は出来す。 の) 別定は出来す。 の) 別定に出来す。 の) 別定に出来す。 の) 別定に当て、 この、 の) して、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	t 使用の の の の が 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	をです。 ています 。	o	
 ①② 注訳たの意力定 ③④⑤ ⑥⑤ [⑦ SLI ⑦ SLI ⑦ SLI ⑦ SLI ⑦ SLI ② SLI ③ SLI ④ SLI ● SLI	オーマット済みで 「下の1行だけを SDCARD_TEST 意] ードアクセス時 健都にはLS8800.0 意] ードアクセス時 きな行う場合は、: Dカード上にLS8 調を抜いた状態のSDカ- とな行う場合は、: Dカード上にLS8 調を抜いた状態のSDカ- 2012/06/07 00 MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F E]SDカードアクセ 時折Displayボタン 基上状態のSDカ- Dカードに保存さ 012/06/0709:00	データが入った。 データが入った。 記述したLS88 (ON) 間測定はLS-1 SFGファイルを SFGファイルをを SOOCFGファイルを 200.CFGファイルを 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFGファイン 300.CFG 3	マレない状態のSDか 300.CFGファイルを用意 8800 Configuration To ユディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は 5T,ONの記述を行したます。 SDカードアクセス時 、SDカードアクセス時 、マータを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 キャックして下さい に 開測定画面が表示さ、 RDTEST.CSV"ファイル 32K/30G	→を用意します。 →を用意します。 ○「では編集出来す。 ○「では編集でのみ、 の測定は出来す。 ③「などは出来すでのみ、 ③「などして下さい。 ○「読を入れて下さい」 ○「読を入れて下さい」 ○「読を入れて下さい」 ○「読を入れて下さい」 ○「読を入れて下さい」 ○「読を入れて下さい」 ○「読を入れて下さい」 ○「読を入れて下さい」 ○「読を入れて下さい」 ○「読を入れている」 ○「読を記書」 ○「読を	t 使用の は の の が 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	をしてす。 このます	. o	
 ①② 注訪たの意力定 SS電停 ②④③ ⑤ ⑥ 〔 ⑦ SSI ⑦ SSI ⑦ SSI ② C SSI ③ C SSI ③ C SSI ③ C SSI ○ SSI<	オーマット済みで し下の1行だけを SDCARD_TEST 第) ードアクセス時 2012/06/07 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F 2012/06/07 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F DDードの容量- 2012/06/10 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F DDードの容量- 2012/06/10 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F EISDカードアクセ 電話 Stop MediaCAP. PW1 7.0V F SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F EISDカードアクセ 第上状態のSDカ- DDードC条在 012/06/0709:00 ime	データが入った。 データが入った。 記述したLS88 (ON、 間測定はLS-1 こFGファイルを 500-CFGファイルを 800-CFGファイ 800-CFGファイン 800-CFGファイ 800-CFG 8	 なしない状態のSDか 300.CFGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は (ルをコピーします)。 SDカードアクセス時 第間測定画面が表示さい 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 キータを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 キータを書き込むと、う 配 SDカードアクセス時 シータを書き込むと、う 第回測定画面が表示さい 	→を用意します。 →を用意します。 ○「では編集出来す。 ○「では編集でのみ、 の測定は出来す。 ③「ないて下さい。 ○認定もれて下さい。 ○認定ものでは、 ○認定ものでは、 ○認定ものでは、 ○認定していることを確認。 ○れていることを確認。 ○れていることを確認。 ○れていることを確認。 ○れていることを確認。 ○れていることを確認。 ○れていることを確認。 ○れていることを確認。 ○れていることを確認。 ○れていることを確認。 ○れていることをでは。	t 使用可 使 せん。 、 、 状態) よ 、 数 し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	をです。 cいます o pir((Min)	. o	
 ①② 注5Cの満5C第 ③④⑤ ⑥ ⑦ SKI ① (2) SKI <li< td=""><td>オーマット済みで 「下の1行だけを SDCARD_TEST 意] ードアクセス時 健都にはLS8800.0 意] ロカード上にLS8 調を抜いた状態のSDカード上にLS8 調を抜いた状態のSDカービル状態のSDカービル状態のSDカービル 2012/06/07 00 MediaCAP. PW1 7.0V F MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F E]SDカードアクセ 時折Displayボタン 正は状態のSDカ- Dカードに保存さ 012/06/0709:00 ime</td><td>データが入った。 データが入った。 記述したLS88 (ON、 間測定はLS-1 SFGファイルを SB0CFGファイルを 800.CFGファイン 800.CFGファイン</td><td> なしない状態のSDから 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は (ルをコピーします)。 SDカードアクセス時 家Dカードアクセス時 学問始します。 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 キータを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 キータを書き込むと、う 第回測定画面が表示さい RDTEST.CSV"ファイル 32K/30G (Byte) Used(MByte) </td><td> ーを用意します。 ーを用意します。 ofでは編集出来す。 ofでは編集にのみ、 の測定は出来す。 (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (回面で)消えるよこ。 れていることを確認 とを開きます。 VolumeInfo (80000(msec)) </td><td>E せん。 使用可f せん。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td><td>とです。 CLいます 。 Dir((Min) (msec)</td><td></td><td></td></li<>	オーマット済みで 「下の1行だけを SDCARD_TEST 意] ードアクセス時 健都にはLS8800.0 意] ロカード上にLS8 調を抜いた状態のSDカード上にLS8 調を抜いた状態のSDカービル状態のSDカービル状態のSDカービル 2012/06/07 00 MediaCAP. PW1 7.0V F MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 00 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F E]SDカードアクセ 時折Displayボタン 正は状態のSDカ- Dカードに保存さ 012/06/0709:00 ime	データが入った。 データが入った。 記述したLS88 (ON、 間測定はLS-1 SFGファイルを SB0CFGファイルを 800.CFGファイン 800.CFGファイン	 なしない状態のSDから 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は (ルをコピーします)。 SDカードアクセス時 家Dカードアクセス時 学問始します。 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 キータを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 キータを書き込むと、う 第回測定画面が表示さい RDTEST.CSV"ファイル 32K/30G (Byte) Used(MByte) 	 ーを用意します。 ーを用意します。 ofでは編集出来す。 ofでは編集にのみ、 の測定は出来す。 (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (回面で)消えるよこ。 れていることを確認 とを開きます。 VolumeInfo (80000(msec)) 	E せん。 使用可f せん。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	とです。 CLいます 。 Dir((Min) (msec)		
 ①② 注SC2注SJ测 ③④⑤ ⑥ [] ⑦ SLE ① ③ (1) ① (1)	オーマット済みで 「下の1行だけを SDCARD_TEST 意] ードアクセス時 健健にはLS8800.0 意] ロナイアクセス時 きな行う場合は、: 加かード上にLS8 調を抜いた状態のSDカ- ビレ状態のSDカ- 2012/06/07 0 MediaCAP. PW1 7.0V F MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/07 0 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 0 SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F E]SDカードアクセ 時折Displayボタン こ に状態のSDカ- Dカードに保存さ 012/06/07 09:01	データが入った。 データが入った。 記述したLS88 ON. 間測定はLS-1 SFGファイルを SB0.CFGファイルを 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイルを 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGフィー	 マロンロい状態のSDから マティノルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は (ルをコピーします) SDカードアクセス時 *SDカードアクセス時 *ごのいの記述を行いた マクタを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 ギータを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 *ボータを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 *ビアクセス時 *ブータを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 *ブータを書き込むと、う ※ ※ ** **	-トを用意します。 いては編集出来す。 いては編集出来す。 の別定は出来す。 の別定は出来す。 このの測定は出来す。 には出来す。 「間測定画面(毎山 「間測定画面(停山 「間測定画面(停山 「間測定画面(停山 「間測定画面(停山 「間測定画面(停山 「で)消えるよこ。 れていることを確認 を開きます。 VolumeInfo <u>80000(msec)</u> 4889	E せん。 使用可f せん。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	とです。 CLいます 。 Dir(Min) (msec)	°	
 ①2 注5t方の我になり、 ③3 SI電停停 ④6 ⑦5 CIE SDカ ④6 ①7 SIC ① (2 SIC) ② CIE CIE SD ③ (2 CIE SD) ④ (2 CIE SD) ○ (2 CIE SD	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 第) ードアクセス時 (2012/06/07 09:00 2012/06/07 09:00 2012/06/07 2012/06/07 2012/06/07 2012/06/07 2012/06/07 2012/06/07 2012/06/07 2012/06/07 2012/06	データが入った。 データが入った。 記述したLS88 ON. 間測定はLS-1 SFGファイルを 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGフィー 800.CFG	 なしない状態のSDから 300.CFGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は (ルをコピーします)。 SDカードアクセス時 第間別定画面が表示さい 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 キータを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 キータを書き込むと、う 第回測定画面が表示さい 第回測定画面が表示さい RDTEST.CSV"ファイル 32K/30G (Byte) Used(MByte) 6 14 	-トを用意します。 いては編集出来す。 いては編集出来す。 の別定は出来す。 の別定は出来す。 での測定は出来す。 での測定は出来す。 での測定は出来す。 での測定は出来す。 でのの測定は出来す。 でのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	E せん。 使用可f せん。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	とです。 ・ Dir(Min) (msec)	(B1)	
 ①② 注5D大の載5S支援 ③④電停 ③④電停 ⑤ [⑦ SU ⑦ 「 ② 20 Ti 20 21 22 22 21 22 23 24 25 26 27 20 21 22 21 22 23 24 25 26 27 28 29 20 20 21 21 22 21 21 22 21 21 22 21 22 24 25 26 27 28 29 20 21 21 22 21 21 22 23 24 24 25 26 27 28 29 29 21 21 21 21 22 21 21	オーマット済みで し下の1行だけを SDCARD_TEST 意] ードアクセス時 健健にはS8800.0 意] ードアクセス時 きな行う場合は、: 加かード上にLS8 調を抜いた状態のSDカ- ビレ大制酸のSDカ- 2012/06/07 0F MediaCAP. PW1 7.0V F MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/07 0F 2012/06/10 0F SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F Dカードの容量- 2012/06/10 0F SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F E]SDカードアクセ 時折Displayボタン こ に状態のSDカ- Dカードに保存さ 012/06/07 09:00 012/06/07 09:01 012/06/07 09:02	データが入っ 記述したLS88 :0N. 間測定はLS-1 SFGファイルを SDCARD_TES 800.CFGファイルを 800.CFGファイ 800.CFGファイルを 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFG	 なしない状態のSDから 300.CFGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は (ルをコピーします)。 SDカードアクセス時 ※Dカードアクセス時 ※団始します。 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 ギータを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 第回測定画面が表示さ、 第回測定画面が表示さ、 RDTEST.CSV"ファイル 32K/30G (Byte) Used(MByte) 6 14 	-トを用意します。 -トを用意します。 olでは編集出来す。 olでは編集でのみ、 の測定は出来す。 での測定は出来す。 では、 での測定は出来す。 では、 での測定は出来す。 では、 でのみ、 の測定して下さい。 いた。 では、 でののみ、 でののみ、 でののののか。 では、 ででは、 ででは、 ででいることを確認 でのでいることを確認 を開きます。 とびいます。 とびいました。 でのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	E せん。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	とです。 ・ Dir(Min) (msec)	°°	
 ①② 注SDナの注SDナ定 ③④ ④ 億 ⑤ [② SL ② SL ③ ④ ⑤ 停 ⑤ [② SL ⑦ SL ⑦ SL ② SL ② SL ② SL ② SL ② SL ③ ④ ④ 停 ③ ④ ④ 停 ④ ● 停 ○ SL ○ SL	オーマット済みで 「下の1行だけを SDCARD_TEST 意] ードアクセス時 健能はLS8800.0 意] ードアクセス時 きな行う場合は、: 加力ード上にLS8 調を抜いた状態のSDカ- ビオ行う場合は、: 加力ード上にLS8 調を抜いた状態のSDカ- とな行う場合は、: 2012/06/07 0F MediaCAP. PW1 7.0V F MediaCAP. PW1 7.0V F DDードの容量- 2012/06/07 0F 2012/06/10 0F SDTest Stop MediaCAP. PW1 7.0V F DDードアクセ 時折Displayボタン この上状態のSDカ- DDードアクセ に大戦®SDカ- DDードアクセ に大戦®SDカ- DDードアクセ に大戦®SDカ- DD-ドスキャマ 012/06/07 09:00 012/06/07 09:01 012/06/07 09:02 012/06/07 09:02	データが入った 記述したLS88 ON 間測定はLS-1 SFGファイルを SB0CFGファイルを 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGフィー 800	マレない状態のSDか 300.0FGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は 5T,ONの記述を行したすう。 SDカードアクセス時 でのした時間入して電 間別定画面が表示さ の SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 第間測定画面が表示さ、 RDTEST.CSV"ファイル 32K/30G (Byte) Used(MByte) 6 14	-トを用意します。 いては編集出来す。 いては編集出来す。 の別定は出来す。 の別定は出来す。 間別定画面(停山 間別定画面(停山 間別定画面(停山 にも動で消えるよう。 れていることを確認 れていることを確認 を開きます。 VolumeInfo 80000(msec) 4889 4363 途中略 49500 5593	E せん。 使用可f せん。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	とです。 CLいます 。 Dir(Min) (msec)		
 ①② 注SDナの注SDナ定 ③④ ⑤ ⑥ [① SSL ② SSL ③④ ⑥ ⑥ [② SSL ② SSL ② SSL ② SSL ③ ④ ⑥ ③ ④ ⑧ ③ ④ ⑨ ⑤ [○ SSL <l< td=""><td>オーマット済みで し下の1行だけを SDCARD_TEST 第) ードアクセス時 建 低していた状態 シードアクセス時 にな行う場合は、: シロカード上にLSB 調を抜いた状態 のSDカード上にしていたが のためになり、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のたり、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のたの、 のた。 のたの、 のため、 のたの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 の</td><td>データが入っ 記述したLS88 :0N. 間測定はLS-1 SFGファイルを SDCARD,TES 800.CFGファイルを 800.CFGファイ 800.CFGファイルを 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFG 8</td><td>Ctursul 状態のSDか S00.CFGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は バルをコピーします。 SDカードアクセス時 で開始します。 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 ジョン・ドアクセス時 マータを書き込むと、う 回 MB マックして下さい マークの のうの のうろ (か) 一</td><td>-トを用意します。 -トを用意します。 olでは編集出来す。 の別定は出来す。 の別定は出来す。 での別定は出来す。 での別定は出来す。 での別定は出来す。 でのの別定は出来す。 でのの別定は出来す。 でのの別では、 の別定して下さい。 でのの別では、 のの別では、 のの別では、 のの別では、 でのののののののののののののののののののののののののののののののののののの</td><td>E せん。 使用可f せん。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td><td>とです。 CLいます o Dir(Min) (msec)</td><td>(B1) (B2)</td><td></td></l<>	オーマット済みで し下の1行だけを SDCARD_TEST 第) ードアクセス時 建 低していた状態 シードアクセス時 にな行う場合は、: シロカード上にLSB 調を抜いた状態 のSDカード上にしていたが のためになり、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のたり、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のため、 のたの、 のた。 のたの、 のため、 のたの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 の	データが入っ 記述したLS88 :0N. 間測定はLS-1 SFGファイルを SDCARD,TES 800.CFGファイルを 800.CFGファイ 800.CFGファイルを 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFGファイ 800.CFG 8	Ctursul 状態のSDか S00.CFGファイルを用意 8800 Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は バルをコピーします。 SDカードアクセス時 で開始します。 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 ジョン・ドアクセス時 マータを書き込むと、う 回 MB マックして下さい マークの のうの のうろ (か) 一	-トを用意します。 -トを用意します。 olでは編集出来す。 の別定は出来す。 の別定は出来す。 での別定は出来す。 での別定は出来す。 での別定は出来す。 でのの別定は出来す。 でのの別定は出来す。 でのの別では、 の別定して下さい。 でのの別では、 のの別では、 のの別では、 のの別では、 でのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	E せん。 使用可f せん。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	とです。 CLいます o Dir(Min) (msec)	(B1) (B2)	
 ①② 注5Dナの注5Dナ定 ③④③ ⑤ ⑥ [⑦ SEC ⑦ SEC ⑦ SEC ② C 20 21 22 23 24 25 26 27 20 21 21 21 21 22 21 22 21 22 21 22 21 22 21 21 22 21 21<td>オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 第) ードアクセス時 構能はLS8800.0 第) シードアクセス時 建在行う場合は、: 2012/06/07 明 2012/06/07 09:01 2012/06/07 09:01 のははCAP. PW1 7.0V F MediaCAP. PW1 7.0V F DDードの容量- 2012/06/07 09:01 012/06/07 09:01 012/06/07 09:02 112/06/07 09:01 012/06/07 09:02 012/06/07 09:02 012/06/07 09:02 012/06/09 13:51 012/06/09 13:51 00</td><td>データが入っ 記述したLS88 :0N. 間測定はLS-1 SFGファイルを SB0.CFGファイルを 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGフィー 800.CFGファイン 800.CFGフィー 800.CFG</td><td>Crucial 以振のSDか SOD Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は ST,ON、の記述を行した場合、通常は ST,ON、の記述を行いた場合、通常は SDカードアクセス時 で一切ます。 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 ドアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 (ボースプレイ画面が 歩をチェックして下さい SRD東にない、アフィル 32K/30G (Byte) Used(MByte) 6 14 30936 (A) 図 SDカ</td><td> ートを用意します。 ートを用意します。 olでは編集出来す。 olでは編集にのみ、 の測定は出来す。 (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間) (目動で消えるよこ。 (本閉きます。 (本閉きます。 VolumeInfo (80000(msec)) 4889 4363 途中略 4950 (5593) ードアクセス時間 </td><td>E せん。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>をです。 cusます o Dir(Min) (msec)</td><td>с (В1) (В2)</td><td></td>	オーマット済みで に下の1行だけを SDCARD_TEST 第) ードアクセス時 構能はLS8800.0 第) シードアクセス時 建在行う場合は、: 2012/06/07 明 2012/06/07 09:01 2012/06/07 09:01 のははCAP. PW1 7.0V F MediaCAP. PW1 7.0V F DDードの容量- 2012/06/07 09:01 012/06/07 09:01 012/06/07 09:02 112/06/07 09:01 012/06/07 09:02 012/06/07 09:02 012/06/07 09:02 012/06/09 13:51 012/06/09 13:51 00	データが入っ 記述したLS88 :0N. 間測定はLS-1 SFGファイルを SB0.CFGファイルを 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGファイン 800.CFGフィー 800.CFGファイン 800.CFGフィー 800.CFG	Crucial 以振のSDか SOD Configuration To エディタ等で直接編集 有効にした場合、通常は ST,ON、の記述を行した場合、通常は ST,ON、の記述を行いた場合、通常は SDカードアクセス時 で一切ます。 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 ドアクセス時 データを書き込むと、う 図 SDカードアクセス時 (ボースプレイ画面が 歩をチェックして下さい SRD東にない、アフィル 32K/30G (Byte) Used(MByte) 6 14 30936 (A) 図 SDカ	 ートを用意します。 ートを用意します。 olでは編集出来す。 olでは編集にのみ、 の測定は出来す。 (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間測定画面(停止) (間) (目動で消えるよこ。 (本閉きます。 (本閉きます。 VolumeInfo (80000(msec)) 4889 4363 途中略 4950 (5593) ードアクセス時間 	E せん。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	をです。 cusます o Dir(Min) (msec)	с (В1) (В2)	

(メモ) テストに使用したSDカードは、フォーマットしてから測定に使用して下さい。 (**太字**は変更後の箇所)

目次項目	ページ	変更/追加箇所	番号	変更内容 (太李 は変更後の箇所)				
-	-		—	新规追加				
	測定データ記録間隔を短くする							
設定 指定	設定ファイルにキー名(DATA REC_INTERVAL)と値(Imin~10min)を記述して測定を行うと、 指定した間隔で測定データの記録が行われます。							
記述 DAT	記述例 DATA_REC_INTERVAL_1min,							
[注加 測定 出来	[注意] 測定データ記録間隔を1~10分に指定した場合、Cardボタンによる測定中のカード交換は 出来なくなります。							
[注加 測定 この	[注意] 測定データ記録間隔はLS-8800 Configuration Toolでは編集出来ません。 この機能はLS8800.CFGファイルをエディタ等で直接編集することでのみ、使用可能です。							
[メモ 値に 2001	[メモ] 値にMAXを指定した場合は、DATA.REC_INTERVALキーの記述が無い場合と同じく、 200Hzサンプリングで約20分、100Hzサンプリングで約40分毎に測定データを記録します。							
「メモ] 測定データ記録間隔を1~10分に指定した場合、ディスプレイ表示中はデータ記録中を 示すRECの表示が記録の3秒前から始まり、記録終了まで表示されます。 RECの表示を避けて電源を切って頂くと、SDアクセス中の電源OFFによるSDカードや データファイルの故障を防ぐ事が出来ます。								
日次項日								
			рц · у	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
-	-							
	ディスプレイを常時表示にする							

設定ファイルにキー名(LCD_POWER_ON_TIME)と値(FIX)を記述すると、 ディスプレイ表示が自動で消える事がありません。

記述例 LCD_POWER_ON_TIME,FIX,

[注意] ディスプレイを常時表示にすると消費電力が増す為、電池などで運用されるお客様は ご注意ください。

[注意] ディスプレイ常時表示はLS-8800 Configuration Toolでは編集出来ません。 この機能はLS8800.CFGファイルをエディタ等で直接編集することでのみ、使用可能です。

[メモ] 測定データ記録間隔と組み合わせることで、いつでもディスプレイのREC表示をチェックする事が 出来ます。